



内科・胃腸科・呼吸器科・放射線科

ゆとりが丘クリニック 便り

〒020-0638 岩手県滝沢市土沢541番地

TEL 019-699-1122 / FAX 019-699-1121

令和6年2月24日(2024) 第0129号

本文は東日本大震災時の内容になります
状況の描写がございますのでストレス等を感じる際はお控え下さい



『大槌地方死体検案業務を終えて』

「県医師会から検死に行ってくれないかって言ってるんだよね・・・」少し重苦しい声で、岩手郡医師会及川忠人会長が電話の奥で話した。「はあ？でも無理じゃないですか？」と私。白状すると、てっきり岩手町の佐々木久夫先生がやってらっしゃるような滝沢村内で事件が

あった際の検察医のような仕事をしろ、という話だと思い込んでいた。その日は気のない返事をして会長に失礼なことをしてしまった。翌日、太田事務長より電話あり。「沿岸の死体検案業務の派遣の件だけど、巢子の高橋真先生が行くことになって・・・」「えっ被災地の事ですか？私も行きます」と言ってしまった。何かしなければならぬ、という気はしていたし、高橋真先生が（以後、真先生とする）手を挙げたことを聞いて背中を押されたような気がした。そしてすべてが真先生の“私が行きます”の一言からスタートした。

3月16日（水）午前8時45分、岩手県警スタッフの若いA氏の迎えに来てくれた車に乗って、松園の真先生と乗り合わせて吉里吉里小学校に向かった。途中A氏より、私達医師の仕事は1グループ4～5人の検視官と一緒に、

- ①死体検案書を作成すること
- ②身元不明のご遺体よりDNA照合の為のサンプル（主として心腔内の血液）をとること
- ③それが出来ない場合は、内臓器よりサンプルを作成すること

これらの業務をこなすことであることを確認した。

道中、通れるべきはずの道が中断されていたりで、戻ったり道路変更したりして目的地まではかなりの時間が掛かった。医師会野球大会のあった釜石のホテル付近に至ると、住宅の1階は破損しているものの、2階は大丈夫そうに見える家屋が続いた。しかし、釜石の駅前付近に進むと、ホテルの4～5階といったあたりの窓枠も破壊され、車外の風景のすさまじさに我々の会話も長期間途絶えた。言葉が出なかった。3時間程でやっと到着。当初予定の吉里吉里小学校へ向かうも、岩手医大からの医師が検案業務をほとんど済ませているということで、次の勤労青少年センターで仕事を開始した。私と真先生、岩手医大の整形外科医師の3人であったが、仕事を分担し岩手医大の先生には死体検案書作成にあたってもらい、私たちがDNAサンプルを採取することとした。5～6人の警察検死スタッフがすべてのご遺体の衣服を脱がせて、各方面からの写真記録を丁寧に行った上で、身元が確認できなかったご遺体からサンプルを取り出す業務を始めた。ブルーシートで囲まれた検死場

(裏面へ)

に入った途端、私の右下に大きな枕ほどの真っ黒な塊が目に入った。最初はよく分からなかったが、体育館の薄暗さに目になれると確かに死体のようだった。“お願いします”という検死スタッフの声に我に返ったが、体のどの部分にあたるのかも分からない。僅かな形から、焼け残った頭部や手足のない胴体部と判断した。サンプルを取ろうとするも心臓血等は取れるはずもなく、焼けて衣服と一塊となった胸部からメスを入れた。胸腔内に手を差し込むと心臓と思われる拳大の塊がコロンと落ちていた。手を入れて拾い上げてみると、凝血塊を含んだ心筋がわずかに認められた。なるべく多くの塊をブロックとして提出した。この地域は、大規模な火災があったとのこと。ほとんどの死体が重度の火傷を負い、性別、年齢はおろか、子供か成人かの区別さえつかないご遺体がほとんどであった。この過酷な環境の中で、消防隊、警察、自衛隊、そして地元のスタッフが献身的に働く姿に頭が下がる思いであった。記録係の若い女性の警察スタッフも、見慣れないであろうご遺体を前に歯を食いしばって業務を続けているのがわかった。ブルーシートの外、安置された遺体と対面した家族の叫び声ともつかない激しい慟哭、妻とおぼしきご遺体の顔についた泥を手拭いで黙々と拭き取る中年の男性、幼子の亡き骸にしがみついて名前を呼び続ける母親の声に、同じ年頃の子供を持っているであろう若い検死スタッフの動きが一瞬止まるのが見てとれた。およそ40体の検死を終え、電気がないので業務終了とのことで帰路についた。帰り道ほとんど会話もなかったが、真先生が“ここで我々ががんばらないと男がすたりますよね”と独り言のように言った。同じ県民として出来ることをやらねば・・・という決意と受け取った。午後10時過ぎに自宅に到着。送り迎えをしてくれた若い警察官に礼を言って別れた。

遅い夕食を取りながら“どうだった？”と妻に聞かれた。“出来ればもう行きたくないけど、行くしかないと思うよ”と答えた時、現場の悲惨さ、被災者への憐憫、現場スタッフへの感謝、いずれとも説明のつかない想いに胸が詰まった。

(2011年いわて医報 掲載)



休診・診療時間のお知らせ

(日曜・祭日は休診日です)

2024年3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	4	5	6	7	8	9
⑩	11	12	13	14	15	16
⑰	18	19	⑳	21	22	23
㉔	25	26	27	28	29	30
⑳						

○ = 休診日 ★ = 診療時間変更

通常通り診療の予定です

診療日・時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後診療 15:00~18:00	○	○	休	○	○	休	休

※都合により代理診療並びに休診等変更になる事がございます
ご了承の程お願いいたします

このマガジンは当クリニックホームページ(クリニック便り)でもご覧になれます。

ゆとりが丘クリニック 検索